

<西川文蔵頌徳碑>

西川文蔵頌徳碑は、昭和 50(1975)年、辰己会創立 15 周年を機に建立された。鈴木商店飛躍期に金子直吉を側面から支えた支配人・西川文蔵の偉業を頌えるもの。



◇西川文蔵頌徳碑文

西川文蔵君は明治 7 年 1 月 28 日滋賀県今津町の素封家「粕文」西川文次郎の長男に生る。

幼にして^{えいご}穎悟、八幡商業、東京高等商業学校を経て同 27 年神戸鈴木商店に入り、同 41 年^{ぬき}擢んでられて支配人となる。

君、別に「^{しゅうちく}脩竹」の号あり、博識高見 重厚なる経綸に一意専念せられしが大正 9 年春胃潰瘍を煩い、同年 5 月 15 日卒然として長逝さる。享年 47、没後茲に五十有余年辰己会に創立 15 周年を迎えて遙に君の遺徳を頌え君の命栄更に燦然

たるを想う。

昭和 50 年 5 月 15 日